

令和7年度第2回認知症施策検討委員会 会議録

日時 令和7年11月14日（金）
13:30～15:15
場所 高梁市役所3階大会議室1～3

1. 開 会

あいさつ（河本委員長）

認知症本人と関わる中で、改めて本人・家族が気兼ねなく話せる場所が大切と感じています。本人の声が聞ける地域になるよう、委員の皆様のご協力をよろしくお願いします

2. 協議事項

1) 令和7年度認知症総合支援事業の進捗状況について

詳細は別紙のとおり

（質疑応答）

- ・普及啓発に対する来場者など昨年度と比較してどのような違いがあるか？

→まちかど相談会での相談件数は変わらないが、物忘れチェック実施者は増えている（特に午後に実施したイズミ会場）。

→地域の理解を深めるためにも継続していくことをお願いしたい。

- ・人数を把握できるようにした取り組みが良かった。物忘れチェックの全体的な結果やその後の対応があれば教えて欲しい。

→自身からやってみようと実施された方は点数が良かった。すでに介護認定・認知症の診断がある方で、点数の低い方もおられた。点数の低い方で家族と同居されている方もおられ、相談先として地域包括支援センターを紹介した。

→物忘れチェックをしながら初期の支援ができるようお願いしたい。

グループワーク 「認知症理解啓発活動について」

- 今年度の認知症月間の評価

【1G】

- ・ロバ隊長にシールを貼ることで来場者のカウントがしやすかったが、職員が常駐していないため、その取り組みに気付けなかった人もいる
- ・街頭啓発で声掛けをしていた場所について、店舗側から注意を受けた
- ・うちわや物忘れチェックを喜ばれる方と拒否・否定的な方もいた

【2 G】

- ・街頭啓発を以前は店舗外で実施しており、展示会場への呼び込みが難しかったが、今回は店内で実施したため呼び込みがしやすかった
- ・図書館の展示がその階までいかないと見ることができないので、目に付く場で実施できればいい
- ・展示の情報量が多かった
 - ・1カ所だけでなく、入り口と中央など分散させるのはどうか
 - ・ロバ隊長のシールを貼る場所がわかりにくい
- ・高梁中央病院は入り口付近で目につきやすいが、成羽病院は少し奥であったため見にくかったのではないか。足元に矢印を設置する、時間を決めてイベントを行うなど注目させる工夫をしてはどうか

● 来年度に向けて

【1 G】

- ・オレンジガーデニングの展示とともに花の種を会場に設置する
- ・物忘れチェックが会場により注目されてしまうため場所の選定が必要
- ・本人の声の展示について、「どこで聞かれたか」は省いてもいい。内容によりその言葉のいきさつ等も必要になるのではないか

【2 G】

- ・ロバ隊長へのシール貼りでの人数把握は継続した方がいい
- ・アンケートのQRコードは継続、合わせて広報誌にも載せる
来場者にはその場でアンケートを書いてもらうようにする
- ・大きいロバ隊長の作成
- ・アドバルーンを揚げる

2) グループワーク ヘルプカードについて

【1 G】

- ・サイズ感がいい
- ・利用対象者は認知症の方か。困った時に本人から提示するのは難しいのではないか
- ・目的の設定をきちんとするべきである
- ・かかりつけ医の欄はなくす、希望の欄を大きくする
- ・まずはヘルプカードを普及させる必要がある

【2G】

- ・かかりつけ医の記載は必要ではないか
(緊急時に本人の治療中の病気等の情報が分かる)
- ・ロバ隊長のイラストを入れる
- ・若い人でも持てるといい
- ・ヘルプカードを普及させる
- ・本人の希望の記載は難しいかもしれない
(〇〇へ連絡して欲しいなどある程度記載しておく)
- ・免許返納時や物忘れが気になる人だけでなく、緊急時にも備えられる
ものであるといいのではないか

3) 認知症初期集中支援チーム活動報告について
詳細は別紙のとおり

3. その他

4. 閉会 (妹尾副委員長)

オレンジカードの使い方は難しいと思われる。先日、認知症本人大使と話す機会があり、「認知症本人に対して支援者が何かをしないといけないという考え方は違う」との指摘があった。認知症になったらどのような地域に住みたいか、どのような支援をして欲しいか等本人が考えること・思うことに対して、本人たちの力でできるようにサポートする一助になればと思っている。委員の皆様もわがごととして、改めて認知症になったらどうしたいかを意識していただければと思います。

第3回認知症施策検討委員会について

日時：令和8年2月13日（金）13：30～15：30

場所：高梁市役所3階大会議室1～3